

令和7年度 第3回社会教育委員会 会議録

開催日時	令和7年8月8日 金曜日 13時30分から 15時05分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	和田智司教育長、橋本由恵副委員長、石黒賢路委員、 市川葉子委員、伊庭しげみ委員、関口金由紀委員、三宅栄子委員
欠席者	久保田秀実委員長、稲葉通隆委員
事務局	松本教育部長、山下生涯学習課長、二見生涯学習班長、 北川スポーツ推進班長、込山図書館班長
その他	傍聴者0名

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 生涯学習課事業報告について

(副委員長)

放課後子ども教室がラディアンで開催された時に、津波警報が出たが、今後このような事態は起きる可能性がある。その時、対応に迷わないように、マニュアルを作成し、現場にもそれが周知されていると本当に良いと思う。

(事務局)

マニュアルの整備に関しては、今回のことでこちらも大変重く受け止めている。今後、検討して整備を進めていきたいと考えている。

(2) 社会教育関係団体の補助金について

(委員)

今年度で、子ども会育成会連絡協議会（以下、「子育連」という。）が解散してしまうということだが、そのあとはどうなるのか。

(事務局)

子育連は解散するが、各地域には、子ども会が残っているところもある。その地域で活動していくことになる。

(委員)

そういうところには、補助金はないのか。

(事務局)

地区活動という扱いになるので、町からの財政的な支援はない。

子ども会の状況であるが、子育連に加盟している地区については、町で把握している。

すでに子育連から脱退してしまった地区の子ども会については、解散したところもあれば、脱退のみで存続している地区もある。

今現在、子育連に加盟している地区は、7地区ある。

(副委員長)

地区活動になると、各地区の持っている予算から補助がもらえるところともらえないところがある。

また、各地域で子ども会がやっていたような活動の把握を町としてできなくなることが、残念である。

(委員)

子ども会の加入率は、少ないのか。

(事務局)

令和6年度の数字になるが、子育連に加盟している地区で56%である。町全体で加盟していない地区の児童も含めると43%である。

(副委員長)

加入率は、地区ごとの数字もあるか。

(事務局)

地区ごとの加入率は把握していないので、回答できない。

(副委員長)

全体的に子どもが減っているので、子ども会に加入しないという現象は続いている。なので、今までのやり方を変えて活動するという形にシフトしているのだと思うし、実際そうされているところも増えてきている。

そうすると、皆さん自立しないといけなくなるので、どこから予算をというのをそれぞれが考えながらやっていくことになる。

(委員)

子どもに関する活動への補助金がなくなっていくという中で、来年度以降どうなっていくのかを知りたい。

子ども会補助金の代わりに、子どもに関する活動をしている団体に対しての補助金があると良いと思う。

(副委員長)

地域生涯学習振興事業補助金は、地域にまたがっていれば活動対象が子どもでも高齢者でも補助金の対象になるのか。

(事務局)

そのとおり。ただ、地域生涯学習振興事業補助金は、生涯学習活動を推進するための講座を実施するための費用が補助対象になっていること、地域とのつながりということも目的になっているので、自治会も巻き込んだ協議体であることが条件になる。

(委員)

もう少し補助対象の枠を広げたり、別の要綱があれば、本当に自主的に一生懸命活動している団体の支援にもなると思う。

(副委員長)

子育連はなくなるが、任意団体は結構あると思うが、そういう方々で協議会のようなものを作れば、補助金の対象になるのか。

(事務局)

今の制度であると難しい。

また、生涯学習の分野が広いので、ハードルを下げると財源的にも厳しくなる。地区と地区が連携して何かをやっていくことに対する補助金ということでご理解いただきたい。

子ども支援課ができたので、町全体として、何ができるか考えていく必要があると感じる。また、町民活動補助金という別の補助金制度があるので、まずは、そちらに当てはまらないかということもあたっていただきたい。

(副委員長)

PTA 連絡協議会への補助金額が 10 万円から 7 万円になっているがなぜか。

(事務局)

こちらは、予算の上限額が 10 万円となっており、補助対象経費の 2 分の 1 の金額を補助するということになっている。資料の収入と支出は、PTA 全体のものなので、補助事業にかかる費用は、もっと少額になる。

実際に、決算報告などを確認して、補助額を計算したところ、補助対象経費が 14 万円でその 2 分の 1 が補助金額ということで、7 万円となっている。予算上は、昨年度と変わらない。

(3) 第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

—質疑応答なし—

(4) その他

- ・生涯学習センター及び山西プール大規模改修工事の進捗報告について
(非公開)
- ・こどもの権利条例策定とこども会議実施の方針について
- ・机上配布資料について

(委員)

コミュニティスクール、学校運営協議会、地域学校協働活動がどのような組織なのか、どのような役割をしているのがよくわからない。

(事務局)

次の会議で、その辺りを説明できたらと思う。

(副委員長)

二宮町では、このようになっているというものを学校名や委員の名前など具体的に示していただけると理解しやすくなると思う。

4. 閉 会